



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しく下さい。※内は、ロットNo.表示位置を示します。

### ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

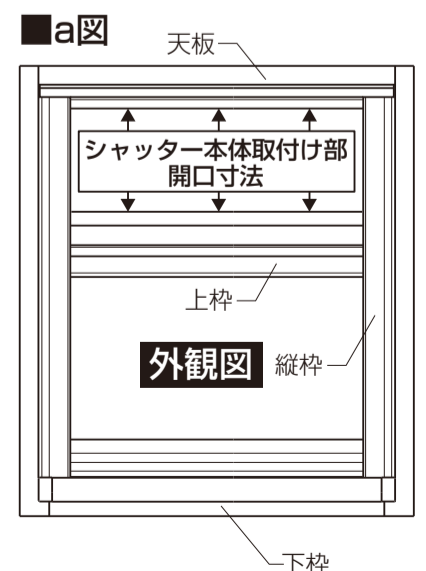
**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲注意


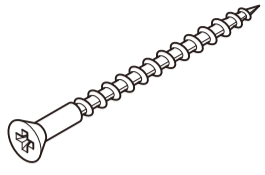
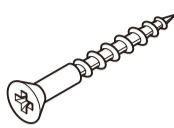
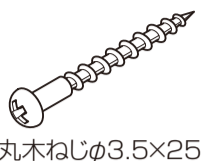
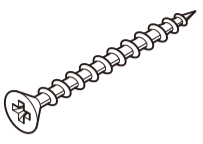
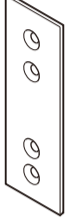

- 思わぬケガをする場合がありますので、下記事項をお守りください。
  - ・本製品は複層ガラス使用の場合、組立て後の製品重量は最大で約80kgになります。施工は対応する人数で行ってください。
- 障子脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。サッシ下枠が垂下がり、障子が落下するおそれがあります。
  - ・必ず指定のスクリーナ釘・ねじを指定の本数使用して枠を固定した後、障子を建込んでください。
  - ・開口部を付け枠などでふかす場合は、一体物と同じ強度になるように取付けてください。
  - ・躯体取付けねじは必ず釘を固定した後に締付けてください。下枠が外側にころび、障子が脱落するなどの不具合が発生することがあります。
  - ・障子の建込み・建付け調整後、必ず外れ止めを上げてください。障子が落下するおそれがあります。
- シャッター本体の脱落や変形による作動不良・漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・本製品は木造用です。躯体が木造であることを確認し、柱などの躯体に取付けてください。
  - ・シャッターを連窓にする場合、吊束を取付けてください。吊束は最大60kgの荷量がかかりますので、□90mm以上の木材を使用してください。
- 漏水の原因となるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・本製品取付け後、サッシ枠の釘打ちフィンを完全におおい、躯体との取合せ部およびサッシ枠の角部が完全に隠れるように防水テープ(別売り)を張ってください。(本文中の図参照)
  - ・入隅、ベランダなどに取付ける場合、排水経路がふさがれるため、ボックス(点検口)、ガイドレール、下枠・縦枠下部の水抜き穴を埋込まないでください。
  - ・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット(別売り)をご使用ください。

### ■取付け上のおお願い

- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したり、アングル波打ちの原因となるおそれがあります。
- 本製品のうち、サッシ枠の組立ておよび取付けは、一般サッシを施工される方が行ってください。サッシの組立て・取付けは、シャッター<電動>(シャッター<EZ>は除く)の施工範囲には含まれません。
- 天板・上枠は水平に取付け、シャッター取付け部の開口寸法がどこを測定しても等しくなるようにしてください。寸法が正確に出ていないとシャッター本体が取付けられなくなり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。(a図参照)
- サッシ枠の水平・垂直を正確に出してください。特に下枠の上下のソリがないようにしてください。取付け精度が悪いとシャッター作動不良の原因になり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。
- モルタル施工の際、ガイドレール・下枠にモルタルが付着しないよう指導してください。
- モルタルはくり剤は、アルミ表面を傷めますので使用しないよう指導してください。
- 下枠先端部にのったり、重量物をのせたりしないでください。無理な重さをかけると破損の原因になります。
- シャッター部分の組立て・取付けについては本体同梱の取付け説明書をご覧ください。
- 施工前に樹脂形材が外れている場合は、樹脂形材をはめ込んでから取付けを行ってください。アングル波打ちの原因となるおそれがあります。
- テラス納まりの場合、床のフロアラインは必ず土台(下枠取付け位置)から37±1mmにしてください。アングル波打ちの原因となるおそれがあります。
- クワトロの台風ポールの取付けは、必ず本体を取付ける前に行ってください。台風ポールの取付けについては、「台風ポール 取付け説明書」をご覧ください。



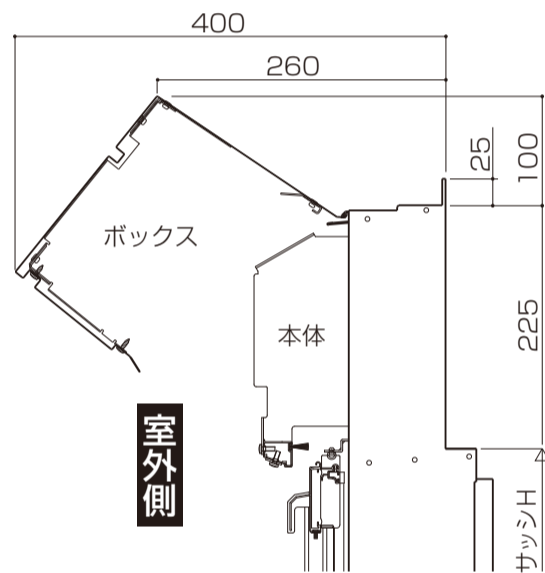
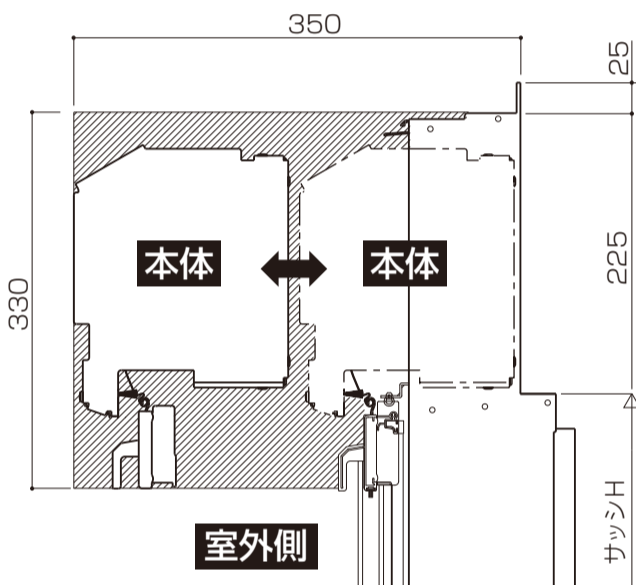
## ■取付けねじ一覧表

①	②	③	④	⑤
				
スクリー釘φ2.1×32	皿木ねじφ3.5×38	皿木ねじφ3.1×20 (アングル部)	丸木ねじφ3.5×25 〔テラスおよびアングル付き窓 (H1400以上又はW2000以上) のみ〕	皿タッピンねじφ4×35
⑥	⑦			
				
吊束補強板 (連窓のみ)	平頭釘φ3×50 (連窓のみ)			

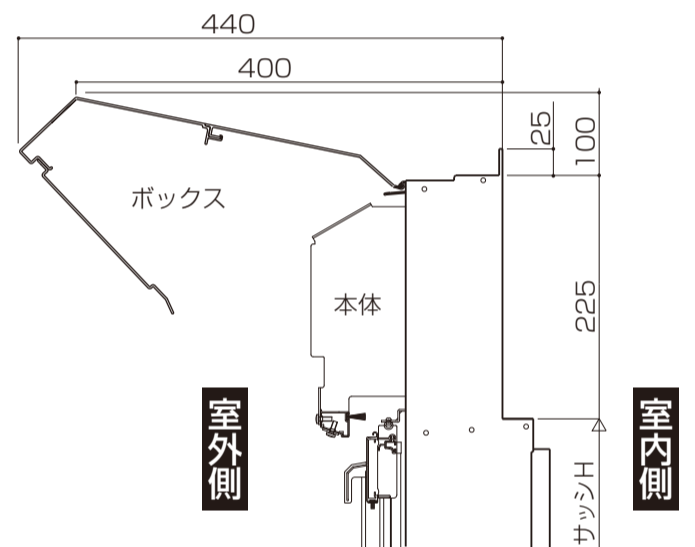
## ■取付け順序

※シャッター本体の施工およびメンテナンスのため、下図のスペースをあけてください。

### ■D型ボックス

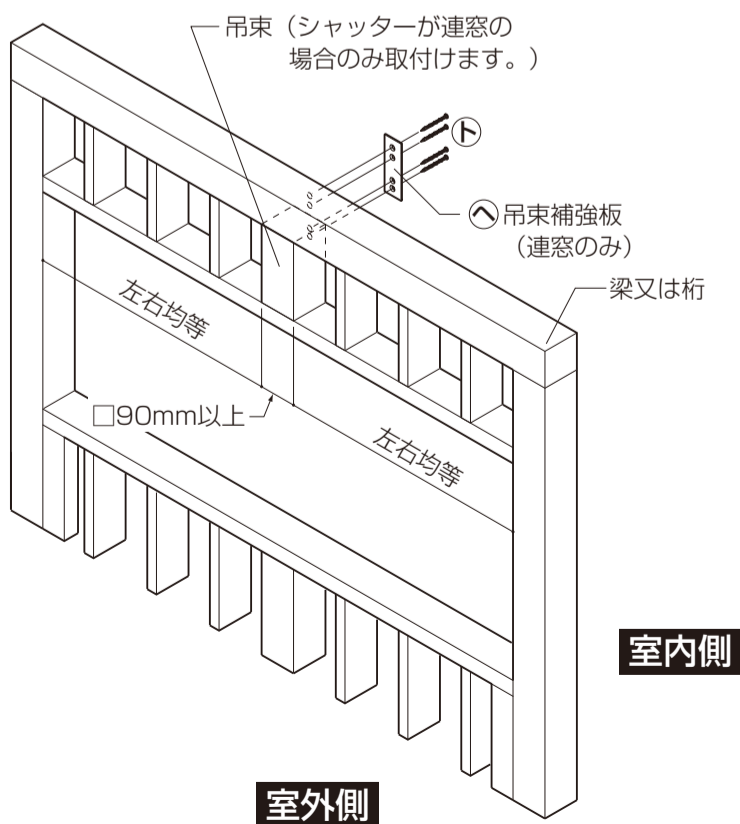


### ■H型ボックス



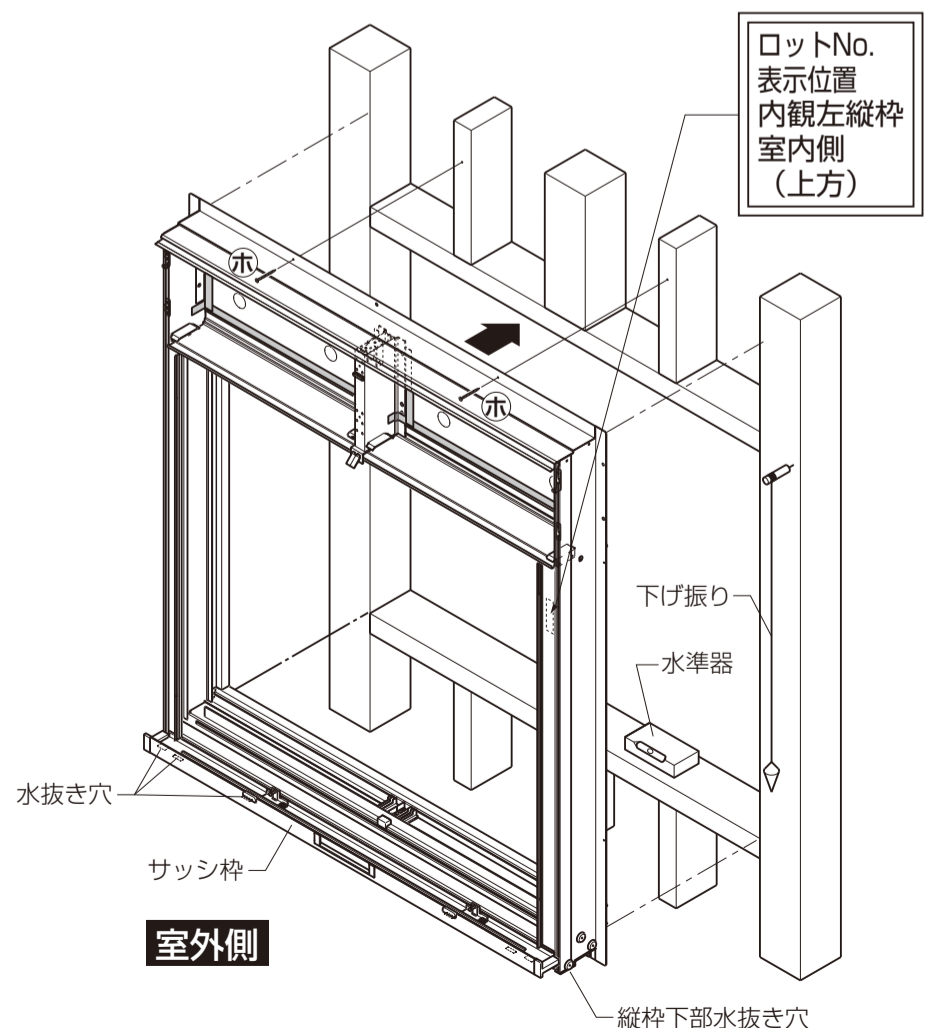
### 1 吊束の取付け (連窓時)

※吊束は左右均等の位置に取付けてください。  
連窓するシャッターが左右均等でない場合、シャッター吊束取付け穴に吊束の中心がくるように取付けてください。

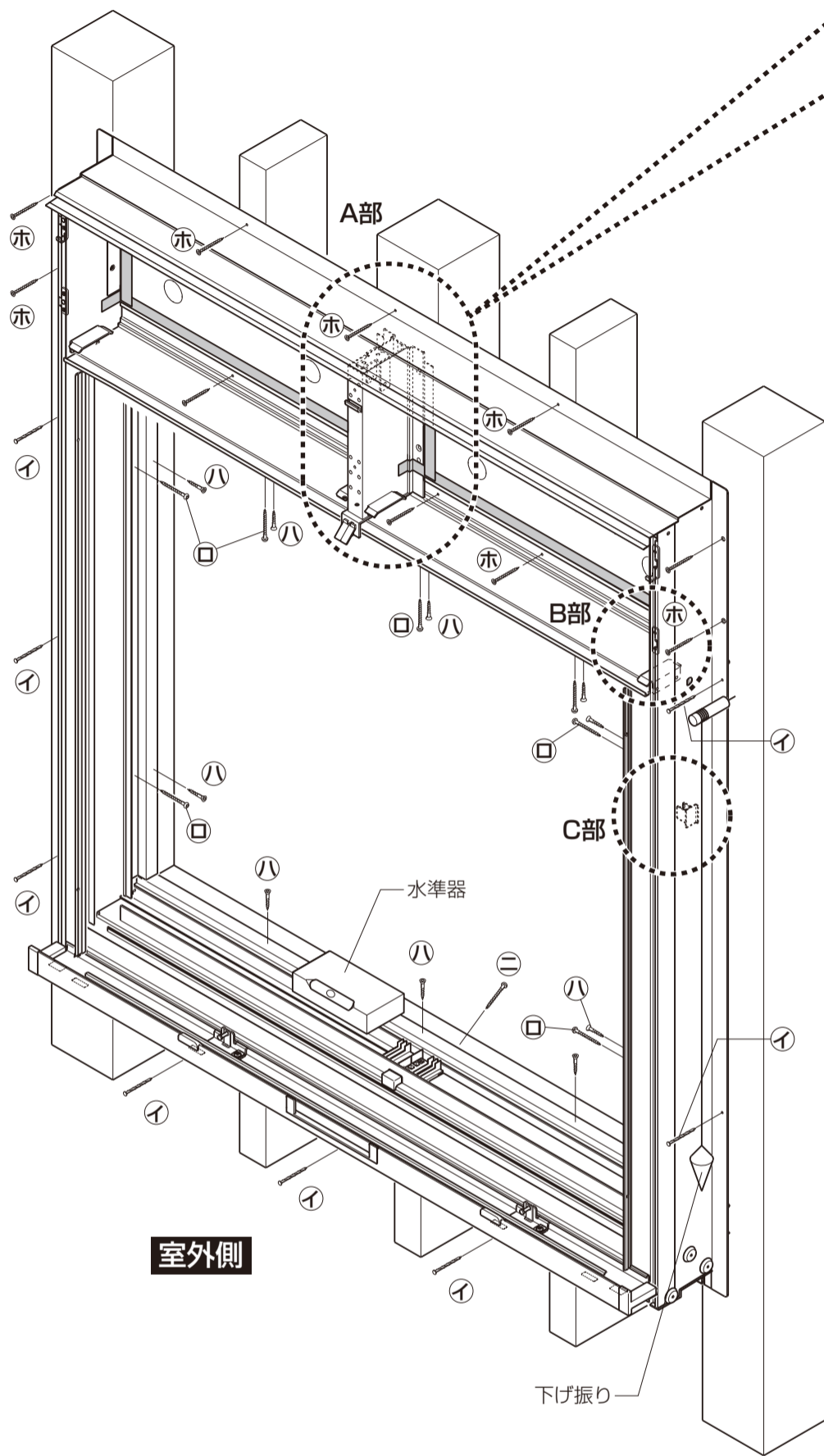


### 2 枠の固定

①開口部の水平・垂直を確認し、⑤皿タッピンねじで枠を仮止めします。



②下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、固定します。

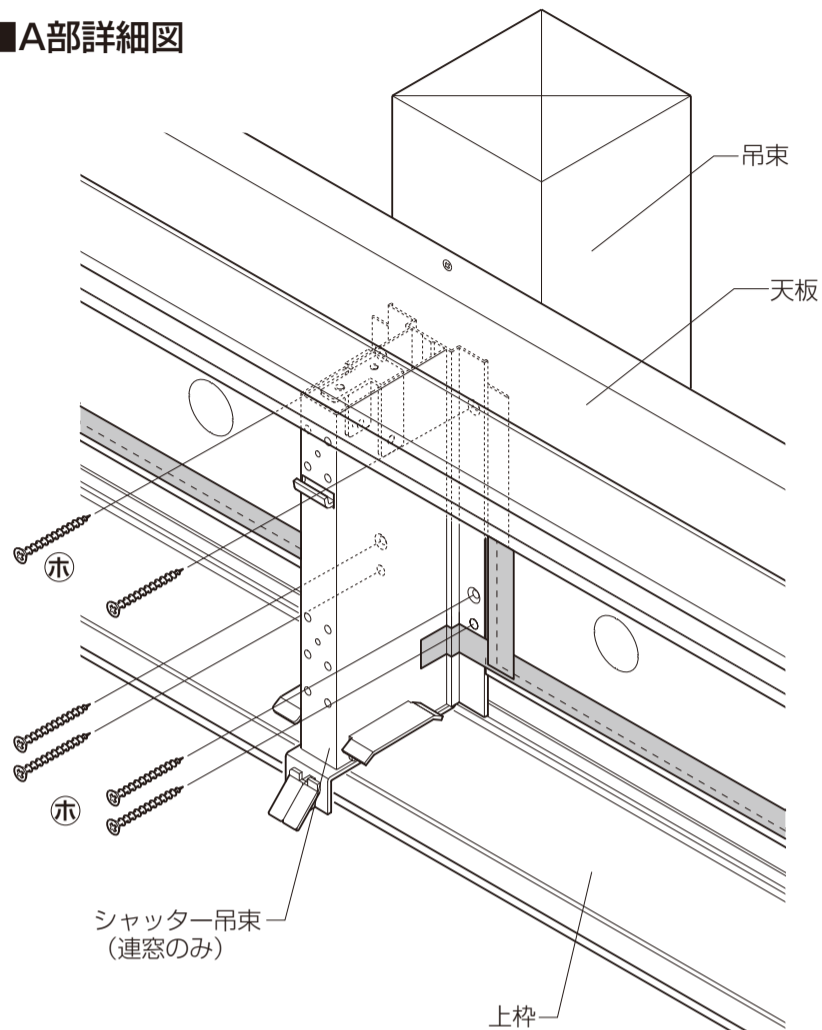


■シャッター吊束部取付け詳細 (連窓のみ)

▲注意

●取付けねじはすべて取付けてください。

■A部詳細図

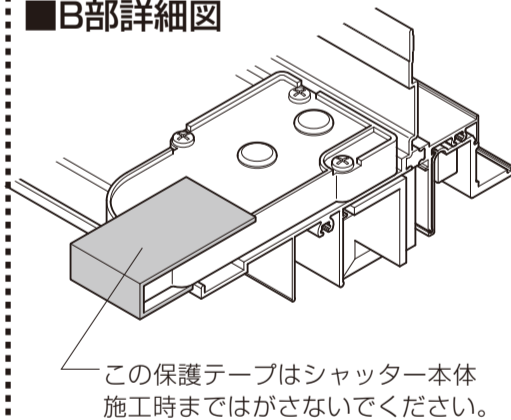


▲注意

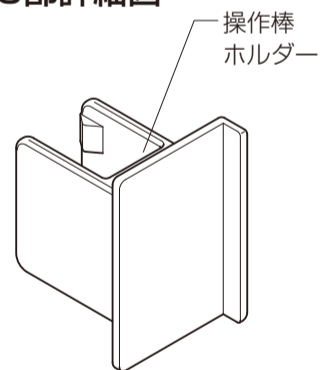
●躯体取付けねじは必ず締付けてください。

※柱と縦枠および上下枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじや釘で適切なトルクにて締付けます。  
 ※躯体取付けねじは、障子建込み前に固定してください。  
 ※EZの場合B・C部にEZ用の部品が付いています。

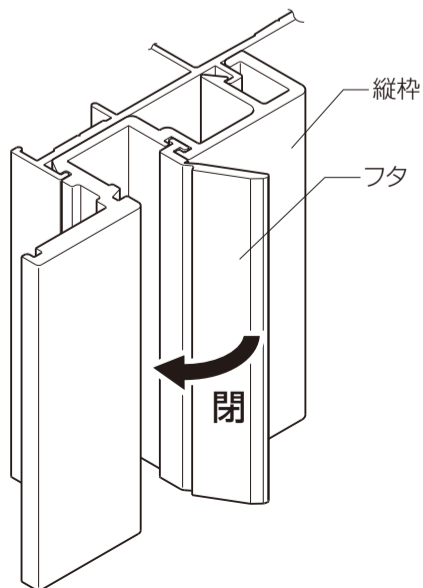
■B部詳細図



■C部詳細図

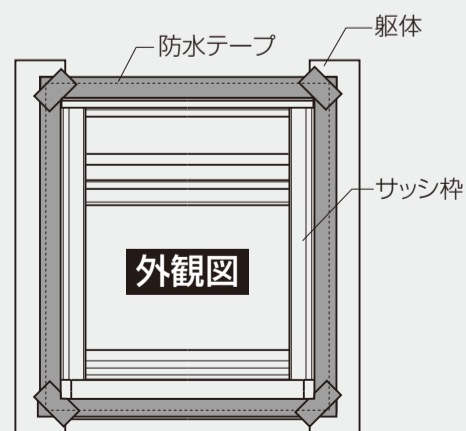


③躯体取付けねじ固定後、縦枠のフタを上端又は下端から閉じてください。  
 ※フタが落ち込むおそれがありますので、フタを閉じる際はハンマーなどではたたかないでください。  
 ※フタ付きはシンフォニーのみです。(デュオおよびHKKは対象外です。)



▲注意

●本製品取付け後、サッシ枠の釘打ちフィンを完全におおい、躯体との取合わせ部およびサッシ枠の角部が完全に隠れるように防水テープ(別売り)を張ってください。



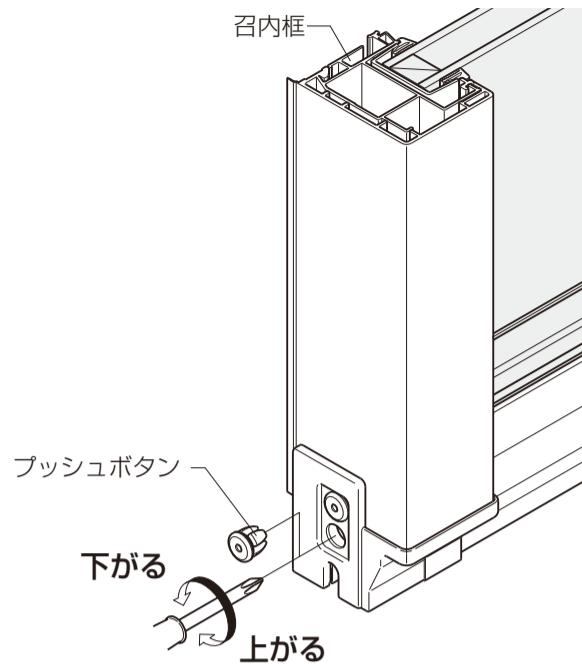
## ■建付け調整

### ■戸車調整

- プッシュボタンをいったん外して調整します。  
(調整後は、プッシュボタンを押込んでください。)
- ※出荷時、障子は下がった状態にしております。  
それ以上は下がりにませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください

#### お願い

※召外下部を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。(障子を閉めた状態で部品を下げてすき間をなくします。)



### ■クレセント調整

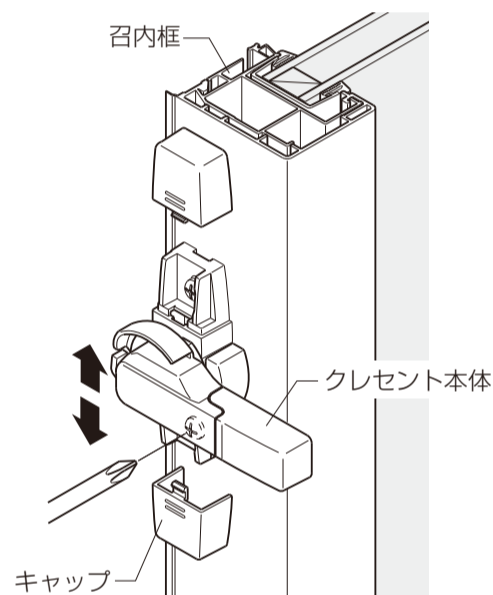
#### 【上下方向の調整】(クレセント本体)

- ①キャップを外します。
  - ②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。

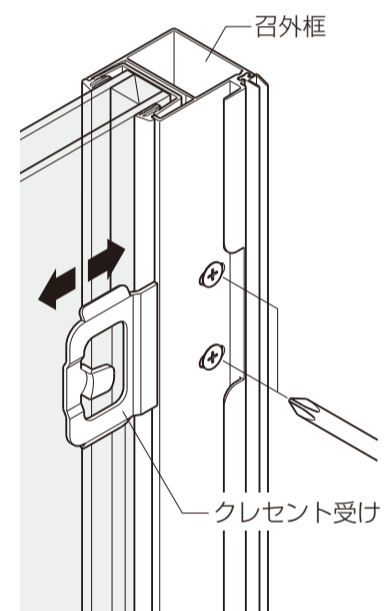
#### 【左右方向の調整】(クレセント受け)

- プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。

#### 【上下方向の調整】



#### 【左右方向の調整】



※図はシンフォニーです。デュオPG・SGはクレセント受けの形状が異なります。

### ■外れ止め調整

- プラスドライバーでねじをゆるめて外れ止めを上げます。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。

#### ▲注意

- 必ず外れ止めを上げてください。

